

〔第15回目〕まとめ

この授業では「熱力学」の基礎を学びました。

- ・専門的に熱力学・エネルギー関連（エンジン，発電，冷暖房），機械・電気電子・建築・土木で材料の特性変化・化学変化（熱処理，材料合成）などを学ぶときの基礎になります。
- ・日常生活，社会生活においても，科学的な常識（科学リテラシー）をもっていることは，間違った情報に踊らされず，評価が定まらない新しい技術の是非（メリット・デメリット）を判断したりする上で重要です。

例：気象，環境・エネルギー問題。電気自動車は本当に省エネになるのか？環境に良いのか？

レポート課題 第15回目 第2回確認テストの復習レポートを提出する。

〆切：8月3日（金）13時

※確認テスト2回目を欠席した者は，追試を行うので申し出ること。

試験・評価について

- ・試験範囲は全範囲（温度と熱量～等温変化と断熱変化，熱力学の第2法則からは応用問題のみ）である。
- ・レポート課題の提出回数が少ない者，欠席・遅刻・退室が多い者の評価は，期末試験を受験しても評価は「欠席」となる。
- ・理由なく無断で期末試験を欠席した場合は，評価は「欠席」となる。（理由がある場合は，追試・特別追試の手続きをとること。）
- ・総合得点＝小テスト（16点）＋中間①（17点）＋中間②（17点）＋期末（50点）
60点以上で合格 [レポート期限遅れ常習者は10点減点]

◎ 期末試験 木曜3時限→8月2日（木）の授業時間 D0311講義室

- ・関数電卓を使用する。 ・教科書，ノート，プリントなど一切参照不可。

◇ 合格点に到達しなかった者への再試験は行わない。（制度的な追試・特別追試はある）

◇ 確認のため，8月7日（火）～10日（金）に，この授業の基礎物理Bの合格者の学籍番号を，D0308研究室前の掲示板に掲示します。「秀・優・良・可」の成績は答えません。確認して，合否に合理的な疑義がある者は来てください。

※合格しても学籍番号の掲示をしてほしくない人は，15回目レポートの氏名の右に「否」と記してください。（14回レポートでもよい。）意思表示がない場合は掲示します。

なお，掲示への同意の有無にかかわらず，成績は後日配布される試験結果通知書で確認でき，確認申請の権利もあります。

=====
 期末試験の出題範囲

- 教科書 §1～§6の章末問題 A レベルの問題を中心に出题する。一部，B レベルの問題（確認テストでは出題していない）および §7 の A レベルの問題も出題する。ただし授業で扱っていない章や部分を除く。
- 確認テストの出題範囲，小テストを参考に復習しておくといよい。